

女性 経営者 に聞く! +プラス

東邦銀行 社外取締役

小西 雅子 氏

福島
の
未来の
ために



「言ってみよう、やってみよう！」佐藤頭取のモットーで行内は活発に意見交換！

1. 自己紹介（福島への思い）

東邦銀行の社外取締役を2021年から拝命している小西雅子と申します。実は私はこれまでの人生で福島に縁がありませんでした。その私が「すべてを地域のために」を社是とする東邦銀行にご縁を頂いたときに、「福島にゆかりのない私でいいのか」とかなり躊躇しました。私の仕事は国際環境保全団体WWFにおいて、地球温暖化を防ぐ国連交渉に従事することで、環境と経済を両立できる政策の提言をしています。そのためにパリ協定などの国際条約の成立を間近でフォローしながら、国内においては省庁の審議会などの委員を務め政策導入を促し、企業の脱炭素化をアドバイスしています。また大学教員として脱炭素政策の研究をしております。

そんな私に、福島と東邦銀行に深い愛情を注ぐ弁

護士から「あなたの持つパリ協定など国際的知見を活かして福島の成長を促進してほしい」と請われたのです。環境とエネルギーを専門とする私にとっては、福島は新旧のエネルギーが交錯する最前線、私でお役に立つならとお引き受けしました。県内各地を回りながら4年目に入った今の私は、福島に強い愛情を感じ、特に地域の企業様の今後の成長につながる伴走支援のあり方などに情熱を注いでいます！

今年も異常な猛暑や洪水に見舞われていますが、アメリカの政権などによる揺り戻しがあったとしても、今後の世界は脱炭素化や自然資本保全、多様性の尊重などサステナビリティが重視される方向性は揺らぎません。国内でもパリ協定に沿った政策導入が急ピッチで進められ、脱炭素化は成長の源泉となっています。時代の変化を最前線でとらえ、地域の企業の成長につながる伴走支援につなげるべく、



東邦銀行のサステナビリティ方針は大躍進！立役者のサステナビリティ戦略推進課とともに

日々奔走しております。正直に申し上げて、私が参画した時には、当行のサステナビリティ方針は決して誇れるものではありませんでした。しかし急ピッチで改善がはかられ、今では全国の地銀の中でもトップクラスの方針です。重要なのは、政府の政策導入や強化によって刻々と変わる規制や補助金制度を、いかに福島の企業の成長につなげるかと思っています。福島が繁栄してこそ、日本の未来があります。その点においては、当行の伴走支援は最先端の国際情勢に沿っており、地域の皆様の信頼に応えるものですので、政府のGX戦略などの変化に戸惑われることがあったら、ぜひご相談下さい！

2. 笹舟キャリア（乗っている笹舟が沈みかけると、別の笹舟がやってきて飛び移る）

この寄稿は、とうほう地域総合研究所の矢吹理事長との会食で、問われるまま私の笹舟キャリアをお話したことがきっかけでした。男女雇用機会均等

法の前の世代の私は、女性がずっと働くことは想定外の社会だったので、行き当たりばったりの人生、ただ懸命に走り続けてきたら、結果として道が続いたというキャリアです。それが「他の方に勇気を与える」と矢吹理事長に強く説得されました（笑）。

私は当時珍しかった帰国子女で、商社マンだった父親の仕事で、ドイツやギリシャなどで思春期を過ごし、大学は日本で卒業しました。英語圏ではないので、当然英語はできませんでした。学生時代からの夢だったテレビ局のアナウンサーになったのですが、当時、女性アナは2年契約。その後、結婚して子ども二人を育てる6年間は仕事もできず、悶々としていました。ようやく二人目の子どもが幼稚園に入った時から、フリーアナウンサーとして番組契約でほそぼそと復帰、家事育児と仕事で目の回る忙しさでしたが、仕事ができる嬉しさを実感しました。しかし女性アナというのは、現代でも名残が見え隠れしますが、若さが偏重され、努力が必ずしも実を結ばない職業です。ましてや当時、私は子持ちの30代になっており、「型落ち」のように扱われ、番

組終了後はあっさり無職(?)となりました。

そこで、私は勉強に活路を見いだしたのです。まずは英語力を身につけ、そして当時始まったばかりの気象予報士に挑戦しました。もともと文系の私、ニュートンの流体力学を基礎とする気象学はちんぷんかんぷん。しかし、頑張りました。意思あるところに道は通じる。航空気象学の元教官が私の頑張りに目をとめて教えてくれ、なんとか合格することができました。そこから気象キャスターとなり、ローカル局などで天気予報を担当したのです。天気には国境がありません。ゴビ砂漠で発生した砂嵐によって日本に降り注ぐのが、黄砂です。おりしも気象キャスターの国際大会に参加する機会を得た私は、国際的に活動する楽しさに目覚め、気象キャスターグランプリを受賞する栄誉にも恵まれたのです。仕事は楽しい！勉強は楽しい！

日々楽しくネタを集めて天気予報をするうちに、世界各地で異常気象が増えていることに気づきました。「これはなんだろう？」と疑問を調べるうちに、地球温暖化の科学に行き着きました。このままでは地球の平均気温は上がり続け、さらなる異常気象や海面上昇が起きてしまう。しかし現実主義の私は、それでも環境を優先する考え方には否定的でした。

ところがある日の新聞で、排出量取引制度という政策を知ったのです。いわゆる環境税の一種で、これが導入されると経済優先の社会でも環境保全も図られる制度で、私はすっかり魅了されました。そこで、排出量取引制度の権威がいるアメリカの大学院を目指し猛勉強、渡米後は睡眠3時間で研究に邁進しました。修了後の2005年に日本で排出量取引制度の政策導入を提言するWWF ジャパンに入りました。海外を飛び回って国連交渉に明け暮れ、100カ国の仲間と一緒にパリ協定に至る国際条約の成立を見守りました。国際交渉には正解がありません。先進国、途上国、新興国、それぞれ立場が違うと正義も変わるのです。その交渉は困難を極めました。最後はSDGs、立場の違いを乗り越えて地球益が共有され、2015年にパリ協定が成立したときは本当に感動しました。そこからは、パリ協定の実施の時代となり、各国が脱炭素化の政策を導入するための研究や提言に従事して、今に至ります。

3. 努力は無駄にならない！

思えば、私の人生はロールモデルもなく先が見えない中、ただ知らないことを知るのが好き、良い仕



▲ WWF（世界自然保護基金）にて世界各国からの同僚とともに国連会議に参加 © WWF ジャパン



◀ 国際気象フェスティバルで世界各国からの気象キャスターと一緒に取材に応える



◀ アメリカ大学院時代、睡眠時間3時間で勉強を頑張ったが、世界各地からのクラスメートとの社交も楽しかった！



▲ スポーツと温泉好き！休日はジャズダンスに明け暮れ、暇さえあれば筋トレに励む♥福島には素敵な温泉がいっぱいでうれしい！

事がなくても勉強に生活の意義を見いだす、という
一点で泳いできた気がします。どの勉強も結果とし
て何らかの仕事をもたらし、努力は無駄になりませ
んでした。グローバルな社会課題が山積みの時代、
正解がない最先端の学問に触れるのは本当に楽しい
ことです。2016年からは大学教員も拝命し、次世
代の育成に関わる喜びも味わっています。そして今
は、福島にご縁を頂いています。なんと幸せなこと
か。自分の培ってきた知見が役に立つならば、福島
の皆様のために全力を尽くそうと思っています。

もちろん自分の専門分野だけではなく、社会の要
請に添った企業ガバナンス改革にも情熱を注いで
います。女性活躍推進も、まずは当行からと努力し
ています。これらについても、日々の勉強とアウト
プットの努力は怠りません！

最後に、自分の体験から一つだけお伝えすると、
今バズワードとなっている“多様性”ですが、これ
は自分を楽にしてくれるものだと思感しています。
ずっと同じところにいると、「万策尽きた。もはや
これまで」と思うことは多々あると思います。とこ
ろが一步外へ出て、多様な価値観に触れてみると、
自分を縛っていた枠が見えてきます。意外と自分で
枠や限界を作っているのかもしれない。ふとそれ

に気づくことで、活路が見い
だせたり、生きるのが楽に
なったりします。社会は正解
のない困難なことに満ちてい
ますが、時折は自分で自分を楽にしてあげながら進
んで行きましょう！



小西雅子著書
「地球温暖化を解決したい
～エネルギーをどう選ぶ？～」
(岩波ジュニスタ)

地球温暖化の科学から対策の国際条約パリ協
定まで、全体像が簡単に分かります！
脱炭素化のポイントはエネルギーの選び方！
よろしかったらお手にとってみて下さい



◀ 幼稚園時代、弟と
一緒に。服はすべ
て母の手作り



▲ 小学生時代、慣れない外国暮らしも大好きだっ
た亡き父と母と満面の笑み



▲ 大学時代、再び海外赴任した両親を訪ねて



◀ 幼いころから母先
生に習った茶道裏
千家、今は娘と息
子と一緒に